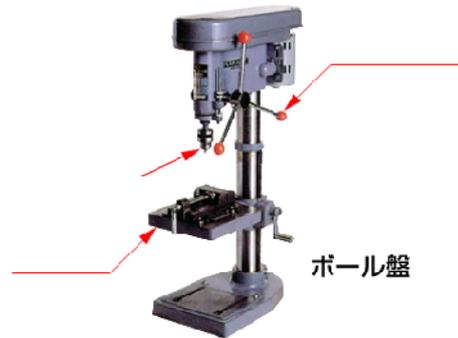


《穴あけについて（ボール盤）》 2-1

年	組	番	氏名
---	---	---	----

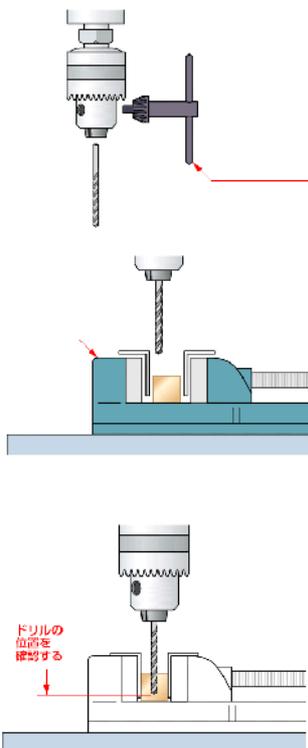
1. ボール盤の各部の名称を（ ）内に書きいれましょう。

()
 ()
 ()



2. ボール盤での穴あけについて、文章の（ ）にあてはまる語句を、下の答えの（ ）内に書きましょう。

金属に穴をあけるときは、ボール盤を使用するのが一般的で、ポイントは正確な位置、正確な（ ）にあけることです。
 正確な位置に穴をあけるためには、しっかりとしたけがきを行う必要があります、金属のけがきには（ ）を使用します。
 けがく時は、交点穴をあける位置にくるように、十字の線をけがきます。
 けがいた線の交点に（ ）をあて、ハンマで軽くたたいて、へこみをつけます。



取り付け穴にドリル刃を差し込み、（ ）を使ってゆっくりと口金を締めていきます。このとき、刃が口金の（ ）にあることを確認します。

穴をあけるのが小さい材料の場合は、材料が動かないように、（ ）でしっかり固定しないと、材料がドリルと一緒に回転し、指を切ることもあり、大変危険です。

ドリルと材料の関係は、ドリルとテーブルが直角になっていることが必要であり、穴の深さは（ ）の高さを調節することによってきまります。

貫通穴をあける場合は、材料の厚さより 20mm程度下までドリルが降りるようにセットします。

途中まで穴をあける場合は、（ ）を回しきったとき、材料に必要な深さの穴があくように調整します。

穴の深さを調整したら、バイスに取り付けた材料を（ ）の中心とドリル刃の（ ）を合わせるよう微調整します。

答え . () () () ()
 () () () ()
 ()

《穴あけについて（ボール盤）》 2-2

年	組	番	氏名
---	---	---	----

3. ボール盤を使う時に注意しなければならない安全面について、下のような場合、具体的にどうすればよいか、またその理由を下の（ ）内に書きましょう。

- ・刃が揺れ動いているように見えて折れた。

（ ）

- ・小さな材料がドリルと一緒に回って指を切った。

（ ）

- ・小さめの径のドリルで穴をあけたら、斜めに穴があいた。

（ ）